

JAGES研究会において「新潟県の豪雪中山間地域における調査の実施計画」について発表しました。

平成 26 年 9 月 27 日（土）に日本福祉大学名古屋キャンパスで開催された、JAGES研究会に参加し、当センターの鈴木翼特任助教より「新潟県の豪雪中山間地域における調査の実施計画」について発表しました。



JAGES (Japan Gerontological Evaluation Study, 日本老年学的評価研究) は、愛知県の2自治体から始まったAGES (Aichi Gerontological Evaluation Study, 愛知老年学的評価研究) プロジェクトを母体に、2010年からフィールドを全国の自治体に拡張してスタートしました。JAGESプロジェクトのねらいは、高齢者を対象とし、身体・心理・社会的など多面的な視点から実証的な老年学的研究を進めることです。また健康の社会的決定要因 (social determinants of health, SDH) を解明する社会疫学的な研究や介護予防政策の総合的なベンチマークに必要な基礎データを得ることも目的としています。私達のプログラムもこのJAGESプロジェクトに参加し、今年度は阿賀町、十日町においてJAGESの内容も含めたアンケート調査を行いその結果を共有し、新潟県の豪雪中山間地域のデータを全国のデータと比較をしたいと考えています。

今回の発表では、鈴木翼先生から阿賀町、十日町市でのアンケート実施計画の内容を説明し、研究会を主催する近藤克則先生から、スポーツ組織参加についての追加調査項目のご提案をいただきました。ほかにも私たちの実施計画に対して参加の先生方から多くの貴重なご意見・ご質問をいただくことができました。

研究会でいただいたご意見・ご提案を、私達の今後のリサーチ・医学研究実習に生かしていきたいと思えます。

